

平成18年度

名古屋大学大学院国際言語文化研究科公開講座

恐怖を読み解く

—日々の生活から国際政治まで—

最近よく耳にする言葉に「テロリスト」があります。これはテロル（恐怖）を引き起こす人というほどの意味であり、地下鉄の乗客も議事堂の政治家も、ロンドンでも名古屋でも、みな恐怖に直面しているわけです。人間はずっと恐怖とともに生きてきました。恐怖の対象も千差万別です。そして恐怖を語ることも、ただ単に感情的に反応しているのではなく、それは、家族や恋人など掛け替えのない人への思い、文学表現や歴史認識、宗教信条、それに政治的主張や社会的不満など、様々な要素と連関しています。きわめて個人的に見える一つの恐怖の表明も、それを掘り進んで行くと、時代や地域、さらには一つの文明の特徴さえ明らかになってきます。

- 第1回 6月14日(水)
疾病と医学と：日常の恐怖…………… 福田 真人
- 第2回 6月16日(金)
テロルの構造…………… 布施 哲
- 第3回 6月21日(水)
現代イギリス社会に見られるマスメディアと恐怖…………… エドワード・ヘイグ
- 第4回 6月23日(金)
チャールズ・ブロックデン・ブラウンの恐怖小説を読む…………… 長畑 明利
- 第5回 6月28日(水)
村上春樹と暴力…………… 西川 智之
- 第6回 6月30日(金)
ゲールドはテロリストか？…………… 藤井 たぎる
- 第7回 7月5日(水)
西洋思想にみる恐怖…………… 飯野 和夫
- 第8回 7月7日(金)
西欧人男性の去勢恐怖と西欧世界…………… 松本 伊瑛子
- 第9回 7月12日(水)
フランス・ピレネー地方の家族と恐怖—(善良な未開人)か？— ギャランス・デュクロ
- 第10回 7月14日(金)
民族の共生と恐怖—ユダヤ人の喜びと苦しみ—…………… 田所 光男

- 開催期間:6月14日(水)から7月14日(金)まで 毎週水・金曜日 全10回
- 開講時間:18:30~20:00
- 受講対象者:一般社会人、大学生、大学院生
- 募集人数:60名(先着順)
- 受講料:7,200円(募集要項に入っている「納入依頼書」により郵便局へ払込)
- 開催会場:名古屋大学 東山地区 文系総合館7階カンファレンスホール
- 申込締切:5月31日(水)まで〔必着〕
- 申込方法:郵送に限ります。詳しくは募集要項をご覧ください。
- 要項の請求:募集要項の必要な方は、国際言語文化研究科事務室まで直接お越し頂くか、または、返信用封筒(80円切手貼付のこと)を同封の上、下記申込先まで請求して下さい。

申し込みと問い合わせ先

名古屋大学大学院国際言語文化研究科事務室

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL: 052-789-5245・4833 [AM9:00~PM5:00] FAX: 052-789-4873

ホームページ: <http://www.lang.nagoya-u.ac.jp/events2006/kokaikoza-2006.pdf>